

すももの郷通信Ⅱ

落合小
学校通信
No. 3
2023.5.16
発行 宮崎

児童総会が開催されました。5月12日（金）

3～6年生の児童が一堂に会し、児童総会が開催されました。今年度の児童会のテーマ「飛翔～希望をもって一人一人が自分らしく～」のもと3つの活動の柱（チャレンジ活動・なかよし活動・ボランティア活動）について話し合われました。話し合いの最後に「児童会テーマを実現するためにどんなことをどのように頑張ってみよう」と思うのか、一人一人がじっくり考え、その後に自分の言葉で自分の決意を発表する場面がありました。今年度の児童会本部役員の運営の工夫です。多くの子どもが自分の言葉で自分の決意を述べる姿が微笑ましかったです。

まさに、「飛翔～希望をもって一人一人が自分らしく～」にふさわしい児童総会でした。今年度の児童会活動も期待大です。



本部役員：あふれる意欲

議長：見事な進行

委員長：落ち着いた対応

各クラス：多くの意見

校外学習に出かけてきました！！ 1年生・2年生

5月9日（火）には2年生が生活科見学で川上方面に出かけてきました。また、11日（木）には、1年生がやはり生活科見学で懸腰山、すももの郷公園へ出かけてきました。両日ともお天気に恵まれ計画通りの活動が行えました。今年度はじめての校外学習となりましたが、1年生も2年生も安全に気を付けて楽しんで学習してることができました。



1年生（懸腰山・すももの郷公園）



2年生（地区探検・川上方面）



物事の正しいすじみち＝態度で教える

ちょっと前のことですが、久しぶりに電車へ乗ったときの話です。電車は空いていましたが、私の斜め前の二人掛けの席に3歳か4歳くらいの男の子とお母さんが座っていました。男の子は、外の景色が見たいらしく向きを変えようとしたのですが、背が小さいために靴のまま座席に足をかけ登ろうとしました。その時、隣に座っていたお母さんが、「いけません。みんなが座るところでしょ。次の人の迷惑になるでしょ。」と言って子どもを叱っていました。しっかりしたお母さんだと思いました。

教育現場では、「生きる力」の育成を目指して取り組んでいますが、社会生活に適応し、日常生活がスムーズにいくための「生きる力」として、学校でも家庭でもしっかり折り目をつけて教える必要があると感じています。子どもはいいところを沢山持っています。でも時に、自分の損得で行動が決まってしまうこともあります。掃除などの仕事になるといわゆる「さぼる」、友だちが困っているのに手をさしのべない、友だちへ配慮の足りない言葉をついかけてしまう、などが時として、現れてくることがあります。

漢字や算数の公式など知識はすぐに教えられますが、価値観や感情などは、態度で学んでいくものなのかなと思います。目上の人に対する言葉づかいをしっかりと教える、自分のためにしてもらったら「ありがとう」を言わせる、「おはよう、おやすみ」、「いただきます、ごちそうさま」など挨拶をさせる。靴を脱いだら揃えさせるなど、こうした日常のありふれた接触の中で、子どもは筋の通った生き方を感じ取っていくのではないかなと思います。

よく耳にする、「大人が子どもを愛してやらなければ、子どもは人を愛するということを身につけられない。」これもまさしく知識ではなく、態度で学んでいくものですね。



令和5年度 県民緑化祭まつり 5月13日 甲府市総合市民会館

県民緑化まつりの記念式典・記念植樹に小林教諭が引率し、児童会役員の4名が参加しました。式典には、知事さんや大勢の県会議員さん、山梨県緑化推進機構のみなさんなど県下からたくさんの関係者が集まりました。当日は、あいにくの雨のため、記念植樹を行うことはできませんでしたが、学校の代表として4名の6年生が責任を果たしてくれました。当日、植樹できなかった苗木は学校へいただけてきました。記念に学校へ植樹したいと思います。



6年生が今年の抱負を漢字一文字で表し、その文字を選んだ理由とともに作品が廊下に掲示してあります。6年生一人一人の最高学年としての意気込みが感じられます。

